

Rosario Quarterly Information**広報
ロザリオ**

社会福祉法人
ロザリオの聖母会
千葉県旭市野中4017
Tel (0479) 60-0600
ホームページアドレス
<http://www.rosario.jp>
Eメールアドレス
honbu@rosario.jp

社会福祉法人ロザリオの聖母会 平成25年度事業・決算報告書

I 事業の概要

1. 概括

1-1 福祉・医療情勢

厚生労働省は2013（平成25）年11月11日に障害福祉関係主管課長会議を開催し、都道府県・指定都市・中核市の担当課長等に対して平成26年度概算要求、障害者総合支援法の平成26年度施行部分について説明を行った。

その中で、平成24年度に成立した障害者総合支援法は2013（平成25年）4月と2014（平成26）年4月の2段階施行となっており、平成26年4月には

- 重度訪問介護の対象拡大
- 共同生活介護（ケアホーム）と共同生活援助（グループホーム）の一元化
- 地域移行支援の対象拡大
- 障害程度区分から障害支援区分への変更
- 計画相談支援の推進

が施行されることを示した。

この中で注目されるのは「計画相談支援の推進」であり、平成26年度末までにすべての障害福祉サービス利用者に策定が必要とされている「サービス等利用計画」が、相談支援事業所及び相談支援専門員の量的不足により期限までの達成が危ぶまれる状況にあることである。

また、生活困窮者自立支援法は春の国会で会期切れにより不成立となり、秋の11月12日参議院本会議で可決成立して2015（平成27）年4月施行となった。その後市町村においてモデル事業を実施する運びになったが、全国240カ所のうち40%を社会福祉協議会が受けるなどの動きが見られた。

一方、医療分野では「精神保健及び精神障害者の福祉に関する法律（通称：精神保健福祉法）」が2013（平成25）年6月19日付で改正されて2014（平成26）年4月1日施行されることになった。改正法では、精神障害者の地域生活への移行を促進するために、厚生労働大臣は「精神障害者の医療に関する指針を策定する」「保護者制度を廃止する」「医療保護入院における入院手続等の見直しを行う」「精神医療審査会に関する見直しを行う」等の所要の措置を講ずるとされた。

次に社会保障、社会福祉法人に関する動きに目を向けると、「社会保障制度改革国民会議」では少子化対策分野、医療・介護分野、年金分野のそれぞれに改革の概要を示し、医療・介護分野改革の中に、医療法人制度・社会福祉法人制度の見直しが謳われた。特に社会福祉法人に対しては、「経営の合理化、近代化が必要であり、大規模化や複数法人の連携を推進していく必要がある。また、非課税扱いとされているにふさわしい、国家や地域への貢献が求められており、低所得者の住まいや生活支援などに積極的に取り組んでいくことが求められている」と指摘した。

厚生労働省は2013（平成25）年9月27日に「社会福祉法人の在り方等に関する検討会」を立ち上げ月一回のペースで議論を行っており、2014（平成26）年5月に報告書を取りまとめることになった

全国社会福祉法人経営者協議会幹部はこれらの動向に強い危機感を抱き、本協議会ホームページに全国の社会福祉法人が運営・財務状況を自主的に情報公開するよう呼びかけるなどの対応を行った。

最後に、26年度は第4期（平成27年度～29年度）障害福祉計画策定年度であり、障害者総合支援法、国連障害者権利条約批准を受けての計画策定になることを踏まえて厚生労働省は、4%の施設入所定員削減、「地域生活支援拠点」として入所施設の小規模化を図り居住支援機能と地域生活支援機能を一体的整備、等の方向を打ち出すとの情報があるので今後の動向に注視が必要と思われる。

1-2 ロザリオの聖母会

25年度、入所系施設の中では、23～24年度に新病棟建設を達成した精神科病院海上寮療養所を今後どのように方向付けるかが焦眉の課題であったが、新院長体制の下、徐々に地域に軸足を移す方向性が確かなものとなり、地域から求められる病院としての姿に向かって病院組織改編検討や職員体制の整備に努めた。

福祉系入所施設では、国庫補助金や積立金取り崩しによる施設改修工事、老朽化対策や日中活動の場の整備等が急速に進展し、サービスの質向上、及び施設入所支援事業（夜間の部）と生活介護事業（昼間の部）の差別化への可能性が拡大した。同時に、短期入所・日中一時支援事業や夏期・冬期休校中の特別支援学校生受け入れにも地域の拠点として持てる機能を活用し、利用者の地域生活支援に努めた。

通所系では、海上寮療養所がデイケアに取り組んで精神疾患を持つ方々の地域生活支援に一步を踏み出した。

また、福祉系事業所では相互に連携をとりつつ年々増加する地域の利用者へのサービス向上に努

め、みんなの家は定員増、ワークセンターは作業棟の増改築を行って環境向上を図るなど事業所の性格や成り立ちに応じた形での改善を進めた。

加えて、新年度も特別支援学校の夏休み、冬休み期間中の生徒の受け皿として地域生活を支える機能を果たした。その他、24年度の経験を踏まえて大雪などの悪天候時における営業のあり方について見直しを行い、送迎車両に雪対策を施すなどの対策を講じた。

居住の場として地域の有効な資源の一つであるグループホームは、長崎市、新潟市のグループホーム火災に端を発する防災対策強化の指導を受けて、一部のハウスにスプリンクラー設備や非常通報設備を整備するなど夜間防災体制を強固なものとするよう取り組んだ。また、長期在院患者や施設退所者の地域移行を支える存在として役割を全うしたほか、いわゆる触法障害者の受け入れにも対応した。加えて、26年度のケアホーム・グループホームのグループホームへの一元化に備え、事業所名改称を始めとした準備に努めた。

相談系では、24年度地域サービス事業部として位置づけ一年間ともに活動した経験を土台に、友の家と旭障害者支援センターが業務統合して一事業所として活動した。また、海匠ネットワーク、香取障害者支援センターでは基幹相談支援センター、虐待防止センター業務を市町村から受託して業務遂行した。

就労系事業所では、香取就業センターが全国4カ所設置のモデル事業を受託して活動し、行政や他県事業所から視察を受けるなどした。

一方、各自治体であまり進展を見せていない利用者のサービス等利用計画作成については、法人内の体制を整備して入所・通所利用者や地域のニーズに応えられるよう図った。加えて、被災要援護高齢者等の生活再建相談支援事業（旧：仮設住宅生活支援アドバイザー派遣事業）は最終年度を迎え、生活再建や復興住宅移転などの業務に携わったが、その活動の必要性から26年度も千葉県と旭市の事業として継続されることになった。

25年度、入所・通所・居住・相談系サービス全てに共通する課題としては、25年4月に施行された「難病等の方」へのサービス提供だったので、それぞれが運営規程を改定するなどの対応を行った。

新たな事業展開として準備を進めてきた香取市旧栗源町の高萩福祉センターは、6月末に開所式を行い、7月から聖ヨセフつどいの家、香取障害者支援センター、香取就業センターの3事業をこの地で開始した。地域の方々から愛された小学校校舎を大規模改修して福祉施設として再生する事業は本会として初めての経験であったが、関係者の努力により地元の方々から再び愛される存在となれるよう地域に密着した運営に励んでいる。

同じく25年度新規事業として旭市委託事業である「旭市こども発達センター」を受託し、4月8日に開所式を行ってスタートした。

運営管理面では、24年度後期から取り組みを開始した人事・労務関係事務の法人一元化を実行した。また、新会計基準の26年度移行をめざしてさまざまな業務に対処したほか、経理処理の適正性を向上するため決裁区分の見直しなどに取り組んだ。

最後に、今年度、人事に関する諸事項を意思決定する機関として人事委員会を立ち上げ、同時に職務に関する調査を常勤職員対象に行って、意見や希望などを踏まえた上での異動等を行った。

1-3 施設・事業所

経営会議で協議した事項等を列記して報告とする。

①海上療養所

- 院長交代
- デイケア事業開始
- 組織再編検討
- 地域系職員の募集、採用
- 入院患者数150人台（退院50人中25人が地域移行）

②ワークセンター

- 基盤整備国庫補助事業による作業棟増改築工事完了
- 年間利用率100%超
- 会計事務を本部が担当
- 駐車場整備
- パート職員採用で人員不足対策

③聖母療育園

- 看護職員不足と看護学生奨学金貸与規程等改定
- 一日当たり4.7人の短期入所等受け入れで地域生活支援
- プライバシー保護や呼称に関する取り組み
- 大規模修繕工事で屋根、外壁等の改修
- 給水管破損による漏水修繕工事

④聖母通園センター

- 送迎車両を共同募金会助成金により整備
- 一日当たり利用者11人超
- 海匠・香取・茨城県南部地域から利用者
- 利用者の障害程度区分ほとんどが区分6
- 女性利用者の整髪やおしゃれに注目して日常生活支援

⑤ふたば保育園

- 園舎新築工事が実現
- 共同募金会にリフトカー助成申請
- 夏期の中・高校生ボランティア47人

- 夏休み中医療ケア児童5名受け入れ
- 利用者による他害事故

⑥旭市こども発達センター

- 4月開所
- 一日当たり利用者数年度末に3,05人
- 旭市に「中間報告ー旭市こども発達センターの現状と課題」提出
- 旭市自立支援協議会が他市児童受け入れを要望
- 旭市の要綱を改正して他市児童受け入れ可能に

⑦聖マリア園

- 定員割れに入所調整委員会で対応して12月に満床
- グループ活動外出支援で累計356人を支援
- 老朽化設備の改修
- 水たまり対策のため3施設共同で排水溝、駐車場整備
- 独居老人給食サービス25年度で終了

⑧聖家族園

- 段階的居室改修工事
- 個別外出
- ヒヤリハット報告
- 地域移行班編成で2人が移行
- 管理棟屋上に津波避難場所設営

⑨みんなの家

- 定員50人に増員
- 移行业業通所率89.5%、継続B型事業通所率97.5%
- 就労支援事業収入前年比102%
- 就労移行支援事業5人の就職者
- 喫茶班スティックチーズケーキが「はーとふるメッセ」で審査員賞受賞

⑩聖家族作業所

- 年間平均通所率117%
- 送迎車両運転手不足
- 日中活動4.5班で運営
- 夏期児童5名を18日間受け入れ
- 人事管理面での課題

⑪ナザレの家あさひ

- 名称変更でグループホーム支援センターからナザレの家あさひに

- 触法障害者の受け入れ
- 下立ハウスにスプリンクラー設備整備
- 利用者が自室で死去
- 民間アパートを借り上げて新規ハウス準備（折戸ハウス）

⑫ロザリオ高齢者支援センター

- 認知症連携パスモデル事業（県内4地域）で「千葉県オレンジ連携シート」作成
- 被災要援護高齢者等の生活再建相談支援事業（3年目）は本事業所所管業務終了
- 災害援助マニュアル改訂版（旭市と介護支援専門員との連携）作成
- 医療とケアマネージャーの連絡名簿作成
- 利用者の重度化、医療機関への入退院増加

⑬ロザリオ訪問介護事業所

- 居宅介護支援（障害ヘルパー）の利用増
- ヘルパーの高齢化
- 喀痰吸引研修
- 定期巡回・随時訪問型サービス研修に参加して事業所のあり方検討
- 職員異動、非常勤職員登用で役割分担見直し、改善

⑭デイサービスセンター・ローザ

- 一日当たり利用者数漸増傾向
- 休業日を1月1～3日に変更して年末営業
- OTによる個別機能訓練
- トイレ改修工事
- 制度外の宿泊サービス

⑮佐原聖家族園

- 4月から6月聖ヨセフつどいの家利用者受け入れ
- 女性中間管理職欠員
- 農作業棟建築工事
- 一部居室の空調設備工事
- 御下賜金拝領

⑯聖ヨセフつどいの家

- 7月開所
- 一日当たり利用者数平均10.39人
- 12月から送迎サービス開始
- 経営改善のために事業見直し
- 喀痰吸引等第3号研修受講

⑰ナザレの家かとり

- 「ケアホーム香取・グループホーム香取」から「ナザレの家かとり」に名称変更
- 利用者休日の世話人体制整備
- 佐原聖家族園家族会を対象にグループホーム見学会
- 利用者が一般就労
- まきのハウスにスプリンクラー設備検討とIHコンロ整備

⑱友の家

- 旭障害者支援センターを吸収
- 職員減で厳しい運営の中サービス等利用計画作成件数増で収入超過
- 難病、重症心身障害児者や特別支援学校卒業生の利用計画増加
- 法人内利用者のサービス利用計画作成検討
- 地域生活支援センター事業Ⅰ型への補助金削減（26年度銚子市）

⑲海匠ネットワーク

- 旭市から虐待防止センター、基幹相談支援センター受託し数件の虐待事例に介入
- 被災要援護高齢者等の生活再建相談支援事業（3年目）推進
- 旭市から「自立支援プログラム策定実施推進事業」26年度受託見込み
- 中核センター大会に村木厚子事務次官招聘
- 市町村事業の開拓

⑳東総就業センター

- 就職38件、職場実習41件で目標達成
- 職場定着率が84.7%（全国平均50～60%）
- 年度中途に職員異動
- 年度末に就労担当職員1名加配
- 25年度生活支援事業補助金（千葉県）支払い26年度に

㉑ロザリオ発達支援センター

- 地域の小学校や就学前児童の相談増加傾向
- 児童に特化した相談支援事業所としてサービス等利用計画作成
- 臨床心理士への相談増加
- 夏期の特別支援学校生受け入れの法人窓口
- 千葉県療育支援コーディネーター配置モデル事業終了により26年度から地域生活支援事業の療育相談支援機能強化事業に継承

㉒香取障害者支援センター

- 香取市内から高萩福祉センターへ事務所移転
- 虐待防止センター・基幹相談センターを一市三町から受託
- 香取市からサービス等利用計画、認定調査の依頼増加

- 年度途中で相談支援職員の就退職
- グループホーム支援ワーカー異動

②③香取就業センター

- 多古町から高萩福祉センターへ事務所移転
- 障害者就業・生活支援センターモデル事業受託2年目終了
- 年度途中で香取障害者支援センターへ職員異動
- 年度末に就労担当職員1名加配と企業支援員1名配置
- 25年度生活支援事業補助金（千葉県）支払い26年度に

②④本部

- 顧問就任で内部牽制強化
- 人事・労務事務法人一元化実行
- ワークセンター会計事務担当
- 人事委員会事務局
- 職務に関する調査実施

2. 法人概要

2-1 法人所在地 千葉県旭市野中4017

2-2 法人設立年月日 昭和27年5月29日

2-3 沿革

- 1929(昭和4)年 戸塚文卿神父が東京市外荏原にナザレトハウスを開設
- 1931(昭和6)年 矢指村野中に小家屋新築、ナザレトハウス移転
- 1935(昭和10)年 ナザレトハウスを増築し、病院組織に(海上寮・うなかみりょう)
- 1947(昭和22)年 宗教法人「聖フランシスコ友の会」が日本医療団より海上寮買い戻し
- 1952(昭和27)年 「社会福祉法人ロザリオの元后会」創設—小原ケイ理事長就任(5月29日)
- 1956(昭和31)年 結核病院である海上寮療養所に精神神経科を併設
- 1971(昭和46)年 結核病棟を廃止精神神経科の病院となる
- 1986(昭和61)年 小原清成理事長就任(12月15日)
- 1988(昭和63)年 重症心身障害児施設「聖母療育園」を開設
(現：医療型障害児入所施設・療養介護「聖母療育園」)
- 1989(平成元年)年 法人名を「ロザリオの聖母会」に改称、法人事務局新設
- 1990(平成2)年 第1回ロザリオ福祉まつり(聖母療育園父母の会バザー)開催
- 1991(平成3)年 身体障害者療護施設「聖マリア園」を開設
(現：障害者支援施設「聖マリア園」)
- 1994(平成6)年 知的障害者更生施設「聖家族園」を開設(現：障害者支援施設「聖家族園」)
- 1995(平成7)年 精神障害者等の無認可作業所「ワークセンター」を開所
(現：就労継続支援B型事業所「ワークセンター」)
- 1997(平成9)年 知的障害者通所授産施設「みんなの家」を開所
(現：障がい者の就労促進事業所「みんなの家」)
精神障害者グループホームの運営に着手
- 1998(平成10)年 聖マリアデイサービスセンター開所(現：聖マリア園生活介護)
- 1999(平成11)年 精神障害者地域生活支援センター「友の家」を開所
- 2000(平成12)年 「聖母通園センター」で重症心身障害児者通園事業を開始
(現：生活介護等事業所)
- 2000(平成12)年 居宅介護支援、訪問介護など老人福祉事業に着手
(現：ロザリオ高齢者支援センター、ロザリオ訪問介護事業所)
- 2001(平成13)年 佐原市(現：香取市)に知的障害者更生施設「佐原聖家族園」を開設
(現：障害者支援施設「佐原聖家族園」)
- 2002(平成14)年 地域生活支援センター「さわやかネット」を開所
(現：中核地域生活支援センター「海匠ネットワーク」)

- 知的障害者更生施設「聖家族作業所」(通所)を開所
(現:生活介護事業所「聖家族作業所」)
- 2003(平成15)年 佐原聖家族園通所部「つどいの家」を開所
(現:多機能型事業所「佐原聖家族園つどいの家」)
- 2004(平成16)年 香取ネットワークを開所(2009年4月他法人に移管)
- 2005(平成17)年 和田ハツ江理事長就任(2月23日)
- 2006(平成18)年 香取障害者支援センターを開所
障害児デイサービス「ふたば保育園」を開所(現:児童発達支援等事業所)
平成9年から運営のグループホームを統括するグループホーム支援センター
(現:ナザレの家あさひ)を開所(現:16か所)
ケアホーム香取・グループホーム香取(現:ナザレの家かとり)を開所(現:4か所)
- 2007(平成19)年 旭障害者支援センターを開所
東総就業センターを匝瑳市に開所(現:みんなの家併設)
- 2009(平成21)年 細渕宗重理事長就任(11月27日)
- 2011(平成23)年 海上寮に認知症訪問診療室を設置
香取就業センターを多古町に開所
デイサービスセンター・ローザを開所
ロザリオ発達支援センターを開所
桑島克子理事長就任(6月8日)
- 2012(平成24)年 法人創立60周年(5月29日)、法人ロゴマーク制定(10月22日)
- 2013(平成25)年 旭市こども発達センター開所(旭市委託事業)
友の家に旭障害者支援センターを吸収、合併
高萩福祉センター開所(聖ヨセフつどいの家・香取障害者支援センター・
香取就業センター、7月1日)

2-4 敷地面積 104,158.19㎡(前年度104,158.19㎡)
約31,507.8坪

2-5 建物面積 29,655.41㎡(前年度29,454.89㎡)
約8,970.7坪

2-6 施設・事業所数 23カ所(前年度23カ所)

- (1) 入所系事業所 5カ所(前年度5カ所)
- (2) 居住支援系事業所 2カ所(ホーム数20カ所、前年度20カ所)
- (3) 通所・日中活動系事業所 8カ所(前年度7カ所)
- (4) 訪問・相談等地域生活支援系事業所 8カ所(前年度9カ所)

2-7 一日当たり利用者数 847.5人（前年度841.5人、前々年度768.2人）

(1) 入所系事業所 423.9人（前年度428.2人、前々年度409.4人）

(2) 居住支援系事業所 84.0人（前年度84.0人、前々年度87.0人）

(3) 通所・日中活動系事業所

194.8人（前年度169.9人、前々年度158.8人）

(4) 訪問・相談等地域生活支援系事業所

144.8人（前年度159.4人、前々年度153.6人）

2-8 職員数 591人（前年度554人、前々年度545人）

(1) 常勤 326人（前年度309人、前々年度303人）

(2) 非常勤 265人（前年度245人、前々年度242人）

3. 25年度の実施事業（平成26年3月31日現在の定款第1条に基づく事業）

3-1 事業内容

(1) 第1種社会福祉事業

- ア 医療型障害児入所施設（聖母療育園）
- イ 障害者支援施設（聖マリア園、聖家族園、佐原聖家族園）の設置経営

(2) 第2種社会福祉事業

- ア 医療保護施設 海上療養所の設置経営
- イ 障害児通所支援事業
 - a 児童発達支援（聖母通園センター、ふたば保育園、聖ヨセフつどいの家）
 - b 放課後等デイサービス（聖母通園センター、ふたば保育園、聖ヨセフつどいの家）
- ウ 障害児相談支援事業（友の家、ロザリオ発達支援センター、香取障害者支援センター）
- エ 老人居宅介護等事業（ロザリオ訪問介護事業所）
- オ 老人デイサービス事業（デイサービスセンター・ローザ）
- カ 老人短期入所事業（聖マリア園）
- キ 障害福祉サービス事業
 - a 居宅介護（ロザリオ訪問介護事業所）
 - b 重度訪問介護（ロザリオ訪問介護事業所）
 - c 同行援護（ロザリオ訪問介護事業所）
 - d 行動援護（ロザリオ訪問介護事業所）
 - e 療養介護（聖母療育園）
 - f 生活介護（聖母通園センター、聖マリア園、聖家族園、聖家族作業所、佐原聖家族園、聖ヨセフつどいの家）
 - g 短期入所（聖母療育園、聖マリア園、聖家族園、佐原聖家族園）
 - h 共同生活介護（ナザレの家あさひ、ナザレの家かとり）
 - i 就労移行支援（みんなの家）
 - j 就労継続支援B型（ワークセンター、みんなの家）
 - k 共同生活援助（ナザレの家あさひ、ナザレの家かとり）
 - l 相談支援（友の家、ロザリオ発達支援センター、香取障害者支援センター）
- ク 地域生活支援事業
 - a 相談支援事業（友の家、香取障害者支援センター）
 - b 移動支援事業（ロザリオ訪問介護事業所）
 - c 地域活動支援センターI型（友の家）
 - d 日中一時支援事業（聖母療育園、聖母通園センター、聖マリア園、聖家族園、聖家族作業所、佐原聖家族園、聖ヨセフつどいの家）
 - e 障害者就業・生活支援センター事業（生活支援等事業）
(東総就業センター、香取就業センター)
 - f 精神障害者地域移行支援事業（友の家、香取障害者支援センター）

- g 基幹相談支援センター（海匝ネットワーク、香取障害者支援センター）
- ケ 中核地域生活支援センターの受託（海匝ネットワーク）
- コ 千葉県障害児等療育支援事業の受託（聖母療育園、ふたば保育園、佐原聖家族園、ロザリオ発達支援センター）
- サ 障害者雇用アドバイザー（企業支援員）事業の受託（東総就業センター）
- シ 障害者虐待防止センターの受託（海匝ネットワーク、香取障害者支援センター）

(3) 公益事業

- ア 居宅介護支援事業の設置経営（ロザリオ高齢者支援センター）
- イ 障害者就業・生活支援センター事業（雇用安定等事業）
（東総就業センター、香取就業センター）
- ウ 一時保護事業

3-2 組織

(Ⅲ 組織図参照)

4. 25年度重点目標実施報告（下線部は全施設・事業所共通項目）

ロザリオの聖母会では、福祉・医療情勢や法人内の実情を踏まえて25年度に法人及び施設・事業所が取り組むべき課題を重点目標として定め、中でも下線を付した項目は全施設・事業所の必須項目に、また、カッコ書きで示したものは24年度印旛健康福祉センター監査による指摘を踏まえ、福祉系施設・事業所必須項目にしてそれぞれの目標に落とし込むこととした。

また、設定した目標については、8月に見直しや進捗状況の確認を行うことを通じて現場や現実に立脚した着実な遂行を図るよう努力した。

4-1 福祉・医療の情勢や動向を注視しつつ施設・事業所の安定的運営に努める。

(1) 情勢（障害者総合支援法や医療・介護保険制度）を踏まえた施設・事業所将来計画と経営内容の検討

法制度改定の動向や福祉・医療を取り巻く環境の変化等に対応した施設・事業所の方向性を見極めるとともに、経営基盤の安定化を図った。

(2) 計画的な人事異動及び中間管理職の育成・登用

施設・事業所横断的人事、及び施設組織図上必要な人事を適正かつ計画的に実施することを通じて軸になる職員の育成、登用を図るよう努めた。

(3) 安定的な人材確保

医療専門職や新卒採用が困難な状況を打開するための対策、及び最低賃金改定に応じたパート職員の待遇改善を図った。

(4) 施設・設備の老朽化や環境改善対策の中・長期計画と資金確保

24年度基盤整備事業により改修工事がかなり進展したが、なお、施設・事業所においては未達成の部分の修繕計画に取り組み、修繕引当金積立の根拠を明確にした。

(5) 社会福祉法人新会計基準移行準備

27年度までの新会計基準移行に向けて準備を進めた。

4-2 社会福祉法人に求められる課題を踏まえつつ利用者等のサービスの質向上に努める。

(1) 地域福祉・医療への取り組み

地域移行を含めた地域生活支援が病院及び入所系施設に求められる時代認識を深めつつ、施設・事業所の役割に応じた具体的な地域生活支援の取り組みを実施した。

(2) 権利擁護、虐待防止に向けた取り組み

平成24年10月施行の障害者虐待防止法の趣旨に沿い、権利侵害や虐待行為に対する縦横のチェック機能を強めて防止策の徹底を図った。

(3) 専門性や特徴のあるサービスの実施（福祉系施設・事業所必須項目）

障害者総合支援法施行を受けて福祉系全施設・事業所が専門性や特徴を明確にして、利用者の選択に資するよう努めた。

(4) 自己評価、第三者評価結果に基づく業務改善及び福祉サービス共通基準2013年改訂版の策定

第三者評価の再受審を進めるとともに、24年秋に実施した自己評価により浮かび上がった施設・事業所の課題を評価、分析して業務改善につなげるよう努めた。

また、2007年版福祉サービス共通基準を障害者総合支援法や諸制度施行に対応した内容に改訂した。

(5) 個別支援計画の全体的点検と基本的事項の遂行（福祉系施設・事業所必須項目）

サービス提供の基準となる個別支援計画の定期的更新を徹底するとともに、利用者を交えた中でのプランづくりやモニタリング等、基本的事項の遂行に努めた。

(6) 利用契約書や支援マニュアルの点検、策定及び更新（福祉系施設・事業所必須項目）

平成24年度印旛健康福祉センター指導監査での指摘を踏まえ、利用契約書、重要事項説明書、同意書、マニュアル等事業所必須文書の内容を再点検した。

(7) 研修体制及び内容の充実

研修課主導の法人内研修の充実に加えて、施設職員への公平な研修機会の提供に努めた。

(8) 苦情解決の仕組みの周知徹底と適切な解決

苦情解決の仕組みを職員個々に浸透させて、苦情の迅速、適切な解決を図った。

4-3 法人の総合的な安全衛生対策の向上を図る

(1) 法人全体の防災・防犯対策の向上と地震・津波への備え

総合安全対策委員会の主導により、月次対策項目を上げて法人全体で取り組んだ。

また、被災時、緊急時の連絡手段としてメール送信訓練を毎月行って非常時に備えた。数回に渡る台風接近時、通所系では前日に利用者対策を講じるなどしたほかは大きな被害を受けることはなかった。

(2) 利用者等安全対策の向上

本項目も総合安全対策委員会の主導により月次対策の中で向上を図り、25年8月は「虐待防止」をテーマに掲げて全法人で取り組んだ。また、聖家族園では中央通りを往来する車

両に徐行運転を呼びかける看板を第3駐車場に設置した。

(3) 安全運転対策の向上

10月時点での車両事故件数が15件あり、去年(18件)を上回るペースで推移しているので注意を喚起したが最終的には26件発生という結果になった。

25年6月8日の第9回安全運転講習会は131人の職員が参加する中で行われた。また、春、夏の交通安全週間では中央通りにのぼりを立てて往来する職員の意識向上を図った。

(4) IT・情報管理対策の向上

本部担当からの desknet's インフォメーションを活用したアップデート情報などにより端末サイドの対策強化を図り、ウィンドウズXPの切り替えも徐々に実行した。また、情報管理においては、先の福祉サービス共通基準2013年改訂版において職員の心得るべき事項を加筆した。

II 決算報告書

1. 貸借対照表（平成26年3月31日現在）

単位：円

資 産 の 部				負 債 の 部			
勘 定 科 目	当年度末	前年度末	増 減	勘 定 科 目	当年度末	前年度末	増 減
流動資産	1,774,937,988	1,902,707,058	△ 127,769,070	流動負債	288,235,455	459,251,263	△ 171,015,808
				固定負債	540,968,468	560,801,316	△ 19,832,848
				負債の部合計	829,203,923	1,020,052,579	△ 190,848,656
固定資産	5,439,898,492	5,334,400,456	105,498,036	純 資 産 の 部			
				基本金	1,624,923,496	1,624,923,496	0
				国庫補助金特別積立金	1,328,768,917	1,303,502,142	25,266,775
				その他の積立金	1,021,482,418	865,709,630	155,772,788
				次期繰越収支差額	2,410,457,726	2,422,919,667	△ 12,461,941
				前期繰越活動収支差額	2,422,919,667	2,264,284,695	158,634,972
				当期活動収支差額	△ 12,461,941	158,634,972	△ 171,096,913
				純資産の部合計	6,385,632,557	6,217,054,935	168,577,622
資産の部合計	7,214,836,480	7,237,107,514	△ 22,271,034	負債及び純資産の部合計	7,214,836,480	7,237,107,514	△ 22,271,034

1. 減価償却費の累計額 3,033,381,970円

2. 就労棚卸、商品・製品52,169円＋原材料833,676円＝合計885,845円が流動資産に含まれている為、
その分の885,845円流動資産－流動負債＝当期末支払資金残高とならない。

(流動資産1,774,937,988円－就労棚卸885,845円－流動負債288,235,455円＝当期末支払資金残高1,485,816,688円)

2. 資金収支計算書

(自平成25年4月1日 至平成26年3月31日)

単位：円

勘 定 科 目		予 算	決 算	差 異
就労支援事業活動 による収支	就労支援事業収入計	54,030,000	54,132,186	△ 102,186
	就労支援事業支出計	54,578,000	53,147,771	1,430,229
	就労支援事業活動資金収支差額①	△ 548,000	984,415	△ 1,532,415
福祉事業活動 による収支	福祉事業収入計	3,508,108,000	3,509,559,389	△ 1,451,389
	福祉事業支出計	3,165,196,000	3,137,582,085	27,613,915
	福祉事業活動資金収支差額②	342,912,000	371,977,304	△ 29,065,304
施設整備等 による収支	施設整備等収入計	20,030,000	20,029,320	680
	施設整備等支出計	147,299,000	146,881,765	417,235
	施設整備等資金収支差額③	△ 127,269,000	△ 126,852,445	△ 416,555
財務活動 による収支	財務収入計	25,505,000	25,505,000	0
	財務支出計	228,920,000	228,360,731	559,269
	財務活動資金収支差額④	△ 203,415,000	△ 202,855,731	△ 559,269
予備費⑤		64,441,000	0	64,441,000
当期資金収支差額合計⑥＝①＋②＋③＋④－⑤		△ 52,761,000	43,253,543	△ 96,014,543
前期末支払資金残高⑦		0	1,442,563,145	△ 1,442,563,145
当期末支払資金残高⑧＝⑥＋⑦		△ 52,761,000	1,485,816,688	△ 1,538,577,688

3. 事業活動収支計算書

(自平成25年4月1日 至平成26年3月31日)

単位：円

勘定科目		本年度決算	前年度決算	増減
就労支援事業活動 収支の部	就労支援事業活動収入計	54,132,186	52,367,616	1,764,570
	就労支援事業活動支出計	56,665,834	53,566,322	3,099,512
	就労支援事業活動収支差額①	△ 2,533,648	△ 1,198,706	△ 1,334,942
福祉事業活動 収支の部	福祉事業活動収入計	3,402,154,954	3,347,062,523	55,092,431
	福祉事業活動支出計	3,172,729,950	3,079,224,028	93,505,922
	福祉事業活動収支差額②	229,425,004	267,838,495	△ 38,413,491
事業活動外 収支の部	事業活動外収入計	193,588,548	255,774,949	△ 62,186,401
	事業活動外支出計	189,044,484	240,561,617	△ 51,517,133
	事業活動外収支差額③	4,544,064	15,213,332	△ 10,669,268
経常収支差額④=①+②+③		231,435,420	281,853,121	△ 50,417,701
特別収支の部	特別収入計	20,032,637	299,671,524	△ 279,638,887
	特別支出計	108,157,210	266,572,168	△ 158,414,958
	特別収支差額⑤	△ 88,124,573	33,099,356	△ 121,223,929
当期活動収支差額⑥=④+⑤		143,310,847	314,952,477	△ 171,641,630
当期利益		143,310,847	314,952,477	△ 171,641,630
繰越活動 収支差額の部	前期繰越活動収支差額⑨	2,422,919,667	2,264,284,695	158,634,972
	当期末繰越活動収支差額⑩* ₁	2,566,230,514	2,579,237,172	△ 13,006,658
	その他の積立金取崩額(+) ^⑦	0	57,582,495	△ 57,582,495
	その他の積立金積立額(-) ^⑧	155,772,788	213,900,000	△ 58,127,212
	次期繰越活動収支差額⑪* ₂	2,410,457,726	2,422,919,667	△ 12,461,941

*₁ ⑩=⑥+⑨ *₂ ⑪=⑩+⑦-⑧

4. 資金収支決算内訳表 (自平成25年4月1日 至平成26年3月31日)

(1)

単位：円

勘定科目		法人本部	海上療養所	聖母療育園	聖母通園センター	ふたば保育園	旭市こども発達センター	聖マリア園
就労支援事業活動 による収支	就労支援事業収入計	0	0	0	0	0	0	0
	就労支援事業支出計	0	0	0	0	0	0	0
	就労支援事業活動資金収支差額①	0	0	0	0	0	0	0
福祉事業活動 による収支	福祉事業収入計	249,679,755	925,407,060	539,946,315	45,357,483	26,279,146	15,567,370	343,001,177
	福祉事業支出計	146,393,022	934,249,118	505,582,549	42,117,248	19,301,873	15,015,103 552,267	312,816,148
	福祉事業活動資金収支差額②	103,286,733	△ 8,842,058	34,363,766	3,240,235	6,977,273		30,185,029
施設整備等 による収支	施設整備等収入計	0	0	15,000,000	2,000,000	0	0	0
	施設整備等支出計	5,931,273	3,020,700	59,316,747	4,315,000	0	348,970	5,256,700
	施設整備等資金収支差額③	△ 5,931,273	△ 3,020,700	△ 44,316,747	△ 2,315,000	0	△ 348,970	△ 5,256,700
財務活動 による収支	財務収入計	0	0	0	505,000	0	0	0
	財務支出計	58,261,723	13,146,330	4,062,625	1,391,750	5,740,000	121,000	17,774,625
	財務活動資金収支差額④	△ 58,261,723	△ 13,146,330	△ 4,062,625	△ 886,750	△ 5,740,000	△ 121,000	△ 17,774,625
予備費⑤		0	0	0	0	0	0	0
当期資金収支差額合計⑥* ₁		39,093,737	△ 25,009,088	△ 14,015,606	38,485	1,237,273	82,297	7,153,704

前期末支払資金残高⑦	383,174,633	234,099,519	205,846,207	13,062,378	12,666,908	0	107,513,584
当期末支払資金残高⑧=⑥+⑦	422,268,370	209,090,431	191,830,601	13,100,863	13,904,181	82,297	114,667,288

*₁ ⑥=①+②+③+④-⑤

(2)

単位：円

勘定科目		聖家族園	聖家族作業所	ナザレの家あさひ	ロザリオ訪問介護事業所	デイサービスセンター・ローザ	佐原聖家族園	聖ヨセフつどいの家
就労支援事業活動 による収支	就労支援事業収入計	0	0	0	0	0	0	0
	就労支援事業支出計	0	0	0	0	0	0	0
	就労支援事業活動資金収支差額①	0	0	0	0	0	0	0
福祉事業活動 による収支	福祉事業収入計	278,256,346	92,363,758	177,257,236	48,753,274	35,092,447	326,367,634	59,213,916
	福祉事業支出計	228,787,881	73,524,342	159,004,275	42,282,547	29,298,280	255,019,776	64,315,841
	福祉事業活動資金収支差額②	49,468,465	18,839,416	18,252,961	6,470,727	5,794,167	71,347,858	△ 5,101,925
施設整備等 による収支	施設整備等収入計	0	0	2,433,000	0	0	0	466,320
	施設整備等支出計	11,138,640	634,830	7,114,800	0	262,500	39,004,405	4,966,320
	施設整備等資金収支差額③	△ 11,138,640	△ 634,830	△ 4,681,800	0	△ 262,500	△ 39,004,405	△ 4,500,000
財務活動 による収支	財務収入計	2,500,000	0	0	0	0	2,500,000	20,000,000
	財務支出計	40,760,000	17,645,250	10,104,553	4,247,000	1,193,000	34,762,875	248,000
	財務活動資金収支差額④	△ 38,260,000	△ 17,645,250	△ 10,104,553	△ 4,247,000	△ 1,193,000	△ 32,262,875	19,752,000
予備費⑤		0	0	0	0	0	0	0
当期資金収支差額合計⑥* ₁		69,825	559,336	3,466,608	2,223,727	4,338,667	80,578	10,150,075
前期末支払資金残高⑦		90,725,191	44,000,912	79,493,156	28,838,833	5,587,008	108,273,310	1,481,781
当期末支払資金残高⑧=⑥+⑦		90,795,016	44,560,248	82,959,764	31,062,560	9,925,675	108,353,888	11,631,856

*₁ ⑥=①+②+③+④-⑤

(3)

単位：円

勘定科目		ナザレの家かとり	友の家	海匠ネットワーク	東総就業センター(福祉)	ロザリオ発達支援センター	香取障害者支援センター
就労支援事業活動 による収支	就労支援事業収入計	0	0	0	0	0	0
	就労支援事業支出計	0	0	0	0	0	0
	就労支援事業活動資金収支差額①	0	0	0	0	0	0
福祉事業活動 による収支	福祉事業収入計	43,654,689	32,291,982	39,185,658	10,793,361	16,365,400	20,142,060
	福祉事業支出計	38,151,176	27,353,700	38,384,424	10,554,350	14,757,857	19,451,943
	福祉事業活動資金収支差額②	5,503,513	4,938,282	801,234	239,011	1,607,543	690,117
施設整備等 による収支	施設整備等収入計	0	0	0	0	0	100,000
	施設整備等支出計	236,880	0	0	0	0	0
	施設整備等資金収支差額③	△ 236,880	0	0	0	0	100,000
財務活動 による収支	財務収入計	0	0	0	0	0	0
	財務支出計	3,000,000	3,243,000	370,750	211,875	160,250	213,125
	財務活動資金収支差額④	△ 3,000,000	△ 3,243,000	△ 370,750	△ 211,875	△ 160,250	△ 213,125
予備費⑤		0	0	0	0	0	0
当期資金収支差額合計⑥* ₁		2,266,633	1,695,282	430,484	27,136	1,447,293	576,992
前期末支払資金残高⑦		14,267,669	17,667,174	5,210,288	1,774,818	9,731,385	2,256,714
当期末支払資金残高⑧=⑥+⑦		16,534,302	19,362,456	5,640,772	1,801,954	11,178,678	2,833,706

*₁ ⑥=①+②+③+④-⑤

(4)

単位：円

勘定科目		香取就業センター (福祉)	ワーセンター	みんなの家	ロザリオ高齢者 支援センター	東総就業センター (公益)	香取就業センター (公益)
就労支援事業活動 による収支	就労支援事業収入計	0	13,405,389	40,726,797	0	0	0
	就労支援事業支出計	0	12,791,547	40,356,224	0	0	0
	就労支援事業活動資金収支差額	0	613,842	370,573	0	0	0
福祉事業活動 による収支	福祉事業収入計	14,805,815	37,402,587	87,843,485	22,705,713	10,147,605	11,678,117
	福祉事業支出計	12,001,708	32,415,286	75,065,054	17,784,858	10,130,383	11,667,567
	福祉事業活動資金収支差額②	2,804,107	4,987,301	12,778,431	4,920,855	17,222	10,550
施設整備等 による収支	施設整備等収入計	0	0	0	30,000	0	0
	施設整備等支出計	0	1,862,175	3,471,825	0	0	0
	施設整備等資金収支差額③	0	△ 1,862,175	△ 3,471,825	30,000	0	0
財務活動 による収支	財務収入計	0	0	0	0	0	0
	財務支出計	235,250	325,250	7,428,000	3,714,500	0	0
	財務活動資金収支差額④	△ 235,250	△ 325,250	△ 7,428,000	△ 3,714,500	0	0
予備費⑤		0	0	0	0	0	0
当期資金収支差額合計⑥* ₁		2,568,857	3,413,718	2,249,179	1,236,355	17,222	10,550
前期末支払資金残高⑦		153,619	10,651,976	56,501,612	5,463,967	1,576,168	388,559
当期末支払資金残高⑧=⑥+⑦		2,722,476	14,065,694	58,750,791	6,700,322	1,593,390	399,109

*₁ ⑥=①+②+③+④-⑤

5. 事業活動収支内訳表 (自平成25年4月1日 至平成26年3月31日)

(1)

単位：円

勘定科目		法人本部	海上療養所	聖母療育園	聖母通園センター	ふたば保育園	旭市こども発達 センター	聖マリア園
就労支援事業活動 収支の部	就労支援事業活動収入計	0	0	0	0	0	0	0
	就労支援事業活動支出計	0	0	0	0	0	0	0
	就労支援事業活動収支差額①	0	0	0	0	0	0	0
福祉事業活動 収支の部	福祉事業活動収入計	103,374,432	926,748,853	555,637,477	49,320,277	26,517,083	15,566,938	356,339,244
	福祉事業活動支出計	118,376,630	953,023,716	529,561,372	47,992,391	18,550,264	15,104,264	326,810,647
	福祉事業活動収支差額②	△ 15,002,198	△ 26,274,863	26,076,105	1,327,886	7,966,819	462,674	29,528,597
事業活動外 収支の部	事業活動外収入計	148,268,768	1,031,493	585,120	75,091	0	432	1,316,000
	事業活動外支出計	45,026,687	33,345,558	11,097,000	473,140	1,847,000	90,000	12,717,000
	事業活動外収支差額③	103,242,081	△ 32,314,065	△ 10,511,880	△ 398,049	△ 1,847,000	△ 89,568	△ 11,401,000
経常収支差額④=①+②+③		88,239,883	△ 58,588,928	15,564,225	929,837	6,119,819	373,106	18,127,597
特別収支の部	特別収入計	0	0	15,000,000	2,000,000	0	0	0
	特別支出計	88,782,475	51,117	15,012,331	2,000,000	0	0	9,243
	特別収支差額⑤	△ 88,782,475	△ 51,117	△ 12,331	0	0	0	△ 9,243
当期活動収支差額⑥=④+⑤		△ 542,592	△ 58,640,045	15,551,894	929,837	6,119,819	373,106	18,118,354
当期利益		△ 542,592	△ 58,640,045	15,551,894	929,837	6,119,819	373,106	18,118,354
繰越活動 収支差額の部	前期繰越活動収支差額⑨	867,165,872	481,909,435	246,574,510	△ 2,238,960	16,290,739	0	147,278,779
	当期末繰越活動収支差額⑩* ₁	866,623,280	423,269,390	262,126,404	△ 1,309,123	22,410,558	373,106	165,397,133
	その他の積立金取崩額(+) ^⑦	△ 70,588,533	5,778,097	0	△ 1	0	0	0
	その他の積立金積立額(-) ^⑧	25,952,788	0	0	0	5,620,000	0	15,000,000
	次期繰越活動収支差額⑪* ₂	770,081,959	429,047,487	262,126,404	△ 1,309,124	16,790,558	373,106	150,397,133

*₁ ⑩=⑥+⑨ *₂ ⑪=⑩+⑦-⑧

(2)

単位：円

勘定科目		聖家族園	聖家族作業所	ナザレの家あさひ	ロザリオ訪問介護事業所	デイサービスセンター・ローザ	佐原聖家族園	聖ヨセフつどいの家
就労支援事業活動 収支の部	就労支援事業活動収入計	0	0	0	0	0	0	0
	就労支援事業活動支出計	0	0	0	0	0	0	0
	就労支援事業活動収支差額①	0	0	0	0	0	0	0
福祉事業活動 収支の部	福祉事業活動収入計	294,920,788	94,611,835	179,027,866	45,885,774	35,092,447	341,850,936	43,634,781
	福祉事業活動支出計	237,217,118	74,292,420	161,725,551	40,882,172	32,208,932	261,061,102	54,080,486
	福祉事業活動収支差額②	57,703,670	20,319,415	17,302,315	5,003,602	2,883,515	80,789,834	△ 10,445,705
事業活動外 収支の部	事業活動外収入計	135,709	0	0	3,000,000	0	443,478	23,000,000
	事業活動外支出計	14,903,068	7,214,000	5,956,120	1,840,000	401,000	17,680,000	20,388,315
	事業活動外収支差額③	△ 14,767,359	△ 7,214,000	△ 5,956,120	1,160,000	△ 401,000	△ 17,236,522	2,611,685
経常収支差額④=①+②+③		42,936,311	13,105,415	11,346,195	6,163,602	2,482,515	63,553,312	△ 7,834,020
特別収支の部	特別収入計	0	0	2,536,318	0	0	0	466,320
	特別支出計	5,975	0	2,257,054	0	0	1	0
	特別収支差額⑤	△ 5,975	0	279,264	0	0	△ 1	466,320
当期活動収支差額⑥=④+⑤		42,930,336	13,105,415	11,625,459	6,163,602	2,482,515	63,553,311	△ 7,367,700
当期利益		42,930,336	13,105,415	11,625,459	6,163,602	2,482,515	63,553,311	△ 7,367,700
繰越活動 収支差額の部	前期繰越活動収支差額⑨	120,796,884	86,742,720	153,197,240	28,955,415	50,108,894	58,999,072	4,490,437
	当期末繰越活動収支差額⑩* ₁	163,727,220	99,848,135	164,822,699	35,119,017	52,591,409	122,552,383	△ 2,877,263
	その他の積立金取崩額(+) ^⑦	0	0	△ 960,705	0	0	602,415	65,168,727
	その他の積立金積立額(-) ^⑧	34,000,000	17,000,000	8,900,000	4,000,000	1,000,000	28,000,000	0
	次期繰越活動収支差額⑪* ₂	129,727,220	82,848,135	154,961,994	31,119,017	51,591,409	95,154,798	62,291,464

*₁ ⑩=⑥+⑨ *₂ ⑪=⑩+⑦-⑧

(3)

単位：円

勘定科目		ナザレの家かとり	友の家	海匠ネットワーク	東総就業センター(福祉)	ロザリオ発達支援センター	香取障害者支援センター
就労支援事業活動 収支の部	就労支援事業活動収入計	0	0	0	0	0	0
	就労支援事業活動支出計	0	0	0	0	0	0
	就労支援事業活動収支差額①	0	0	0	0	0	0
福祉事業活動 収支の部	福祉事業活動収入計	43,654,689	33,049,060	32,698,448	10,793,361	16,202,021	17,442,060
	福祉事業活動支出計	36,283,020	27,369,395	38,772,465	10,472,225	14,490,478	19,425,068
	福祉事業活動収支差額②	7,371,669	5,679,665	△ 6,074,017	321,136	1,711,543	△ 1,983,008
事業活動外 収支の部	事業活動外収入計	0	0	6,487,210	0	260,000	2,700,000
	事業活動外支出計	1,880,000	1,340,000	0	294,000	540,000	240,000
	事業活動外収支差額③	△ 1,880,000	△ 1,340,000	6,487,210	△ 294,000	△ 280,000	2,460,000
経常収支差額④=①+②+③		5,491,669	4,339,665	413,193	27,136	1,431,543	476,992
特別収支の部	特別収入計	0	0	0	0	0	0
	特別支出計	0	0	0	0	0	0
	特別収支差額⑤	0	0	0	0	0	0
当期活動収支差額⑥=④+⑤		5,491,669	4,339,665	413,193	27,136	1,431,543	476,992
当期利益		5,491,669	4,339,665	413,193	27,136	1,431,543	476,992
繰越活動 収支差額の部	前期繰越活動収支差額⑨	14,267,669	14,268,122	5,248,182	1,774,818	9,819,323	2,356,716
	当期末繰越活動収支差額⑩* ₁	19,759,338	18,607,787	5,661,375	1,801,954	11,250,866	2,833,708
	その他の積立金取崩額(+) ^⑦	0	0	0	0	0	0
	その他の積立金積立額(-) ^⑧	3,000,000	3,000,000	0	0	0	0
	次期繰越活動収支差額⑪* ₂	16,759,338	15,607,787	5,661,375	1,801,954	11,250,866	2,833,708

*₁ ⑩=⑥+⑨ *₂ ⑪=⑩+⑦-⑧

(4)

単位：円

勤 定 科 目		香取就業センター (福祉)	ワークセンター	みんなの家	ロザリオ高齢者 支援センター	東総就業センター (公益)	香取就業センター (公益)
就労支援事業活動 収支の部	就労支援事業活動収入計	0	13,405,389	40,726,797	0	0	0
	就労支援事業活動支出計	0	13,015,444	43,650,390	0	0	0
	就労支援事業活動収支差額①	0	389,945	△ 2,923,593	0	0	0
福祉事業活動 収支の部	福祉事業活動収入計	12,178,781	38,142,235	88,569,380	19,070,466	10,147,605	11,678,117
	福祉事業活動支出計	11,707,560	32,941,532	71,372,123	17,469,479	9,871,973	11,667,567
	福祉事業活動収支差額②	471,221	5,200,703	17,197,257	1,600,987	275,632	10,550
事業活動外 収支の部	事業活動外収入計	2,650,000	0	0	3,635,247	0	0
	事業活動外支出計	552,410	1,948,000	5,617,000	1,240,000	258,410	0
	事業活動外収支差額③	2,097,590	△ 1,948,000	△ 5,617,000	2,395,247	△ 258,410	0
経常収支差額④=①+②+③		2,568,811	3,642,648	8,656,664	3,996,234	17,222	10,550
特別収支の部	特別収入計	0	0	0	29,999	0	0
	特別支出計	0	12,756	26,258	0	0	0
	特別収支差額⑤	0	△ 12,756	△ 26,258	29,999	0	0
当期活動収支差額⑥=④+⑤		2,568,811	3,629,892	8,630,406	4,026,233	17,222	10,550
当期利益		2,568,811	3,629,892	8,630,406	4,026,233	17,222	10,550
繰越活動 収支差額の部	前期繰越活動収支差額⑨	153,600	44,656,978	65,130,066	729,703	1,576,168	388,559
	当期末繰越活動収支差額⑩* ₁	2,722,411	48,286,870	73,760,472	4,755,936	1,593,390	399,109
	その他の積立金取崩額(+) ^⑦	0	0	0	122,950	0	0
	その他の積立金積立額(-) ^⑧	0	0	6,800,000	3,500,000	0	0
	次期繰越活動収支差額⑪* ₂	2,722,411	48,286,870	66,960,472	1,378,886	1,593,390	399,109

*₁ ⑩=⑥+⑨ *₂ ⑪=⑩+⑦-⑧

III 組織図 (平成26年3月31日現在)

